

2024年 6月 30日

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③夜7時

司 会

②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱

②松岡 清枝姉

賛 美

聖歌231番「うれしきこの日よ」

～Once Again～

使徒信条

聖書朗読

使徒行伝8章4～8節

特別賛美

サインダンス

メッセージ

「大迫害の中での大いなる喜び」

石井 潤 牧師

献 金

聖歌578番「主の愛のながうちに」

賛 美

～ み救いは主にある ～

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

賛 美

～ イエス様は私たちの道 ～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝します。主の豊かな恵みを祝福をお祈り致します！

★今週の祈り会：①明朝6時、②木曜午前10時半/夜7時半、③土曜夜8時。

☆来週日曜礼拝では誕生祝福式(司：石井兄/祈：白川兄)。午後は聖書の学び会。

◎今年も半年守られたことを感謝して上半期感謝献金をお捧げ致しましょう！

☆☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [6/30-7/7] ☆☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	エズラ 2-4	5-7	8-10	ネヘミヤ 1-4	5-7	8-9	10-12	13/ エステル 1-2
チェック	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇

「大迫害の中での大いなる喜び」

～Be Happy! Be Smiling!～

「その日、エルサレムの教会に対して大迫害が起り、使徒以外の者はことごとく、ユダヤとサマリヤとの地方に散らされて行った。…。さて、散らされて行った人たちは、御言を宣べ伝えながら、めぐり歩いた。…。それで、この町では人々が、大変なよろこびかたであった。」

使徒行伝8章1b,4,8節

教会のこれからを期待されていたステパノが殺されて、その首謀者であるサウロ(後のパウロ)に火がついて、大きな勢力となっていた初代教会の人々のど元にも剣が突き付けられました。もちろん、命を大切にしなければならぬ、死にたくない！そんな思いが真っ先に出てきたでしょう。とにかく、命を大切に、逃げなければ！ということでどんどんクリスチャンたちが散っていきました。彼らは自分たちの土地を捧げてしまっていた状況がありましたので、避難民のように身一つで、とにかく自分の命を優先して、当もない旅に出て行った訳です。まるで、父祖アブラハムのように。教会に文句を言う人は一人もいませんでした。なぜなら、すべてが主の働きだからです。主を信じ切って、主の御言葉だけを握りしめて、当のない旅を始めて行きました。なぜなら、それらのことがすべて主のご計画の中だったことを100%確信していたからでした。

私たちは自分に理不尽なことが起こった時にどのような反応をするのでしょうか？すぐに信仰を失って、落ち込んでみたり、悩んでふてくされたり、不幸せな顔になってしまいます。どうしてそんな風になってしまうのでしょうか？それは、その理不尽な状況を、自分の小さな頭で考えて答えを出そうとしているからではないのでしょうか？どうして、神様に任せないのでしょうか？神様にすべてを任せることができるなら、すべてが安心で、いつでもハッピーでいられますし、いつでも笑顔でいられるはずです。何か、自分がさも知恵があるかのように、人生頑張ってますっていう感じで生きてしまうことが多いと思います。もっと、何も考えていないかのような幼子になれないのでしょうか？そんな身体のおちこちは痛いし、不快だし、環境はどん底で、何にも解決していない私たち。でも、私たちは喜びを選ぶことができます。悪魔はすでに敗北しているにも関わらず、本当に巧妙に、私たちの心を奪っています。喜びを奪い、希望を奪い、絶望感で一杯にしてきます。しかし、それらはすべて偽りで、ニセモノの苦しみです。私たちから輝きを奪うための悪魔の必死な抵抗です。それに簡単に私たちは支配されてしまうのです。さあ、私たちの視点を思い切って、変えてみましょう。下にあつた視線を上を、神様の方に向けてみましょう。きっと、世界が変わるはずです。そういう、私自身がいつの間にかそんな不信仰の世界に引きずり込まれてしまうどうしようもないクリスチャンなのですが、どうぞ、ご一緒に主の懐に飛び込みましょう！そして、こう言いましょう！「お父さん、私はあなたに向かって罪を犯しました！」「でも、私はあなたの息子であることを心から感謝しています！」と。